



中山市長（右端）に取り組みの現状を報告した学生

流经大生企画の 観光ツアー準備着々

流通経済大（龍ヶ崎市）の学生が、地元特産米の米粉を使った菓子作りを体験できる観光ツアーの企画に取り組んでいる。新松戸キャンパス（千葉県松戸市）に在籍するアジアの留学生を対象に、12月にも龍ヶ崎市でモニターツアーを実施する予定だ。

社会学部の東美晴教授と社会学部国際観光学科の学生ら8人。この企画は龍ヶ崎市と協力して活性化を図る「龍・流連携事業」の一環で2016年度に始まった。3年度計画で「体験型観光プログラム」を完成させる。

学生は16日と23日、16年度に見学した市内の菓子店6店を回り、活動報告書を渡す予定。17年度は、体験型観光によるまちおこしの県内外の実践例を視察する計画だ。今月2日に市役所を訪れた際には、中山一生活市長から「学生の視点から市の魅力を再発見してほしい」と激励を受けた。